

再発足にあたって

川 村 浩

生物リズム研究会は1984年の暮れに故高木健太郎先生のご提案によって発足して以来、川崎晃一先生に事務局長として非常なご尽力をいただき、着実な発展をとげて参りました。昨年には第8回の研究会が矢永尚士先生を会長として別府でひらかれましたが、年々演題も増して研究会としての形が整えられて参りましたことは大変に喜ばしいことと考えております。

しかしながら会費無料のまま財政的な基盤を川崎先生お一人に依存することは決して正常な姿ではないというご意見は以前からありました。このような第一線の方々のご要望に答える形で、今回事務局を岡山大学の中島秀明先生の下に移し、会費を支払っていただける方々を会員として事実上の再発足をすることになりました。この機会に、これまで生物リズム研究会を実際に支えてくださった九大の川崎晃一先生、上園慶子先生らのご功績を銘記し、改めて深く感謝したいと存じます。

幸い中島先生らのご努力によって、積極的な会員も確保され、ここに日本の生物リズム研究の国際的なレベルでの発展を志す研究者の集りが、さらに確固とした基盤の上に成立しましたことを心からお祝い申し上げたいと存じます。

生物リズムのように時間も人手もかかる学際的な分野での研究は、近年の我が国の著しい経済的な発展にもかかわらず、明治以来の制度のままに残された研究システムの下では多大の困難を伴います。このことは皆様方の日夜のご苦勞で実感されていると存じます。

そのため小数の先人のすぐれた成果にもかかわらず、まだわが国のリズム研究者は比較的小数に留まり、規模も不十分といわなければなりません。このような条件の下では、基礎、応用、臨床と領域は異なりましても研究者の皆様が大同団結し、全体として研究を発展させることが非常に重要ではないかと考えております。

この会が実際にすぐれた研究を積極的になさっている方を中心として、名実ともに国際的に日本を代表する会となりますよう、また若いエネルギーによる将来の目覚ましい発展に役立つ会となりますよう、心から期待する次第です。